

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	38426	
事業名	サッポロさとらんどリフレッシュ費						
評価担当課	所属名	経)農政部 農政課					
	課長名	高本 俊	担当者名	稲田 晃一	電話番号	011-211-2406	
施策名	主	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	老朽化した施設の更新等を通じて、施設の魅力と話題性を強化し、2022年度に来園者75万人達成を目指す。				
		長期	多くの市民に、農業に関する体験実習の実施、情報の提供等を通じて農業に対する知識及び理解を深めるとともに、緑豊かな憩いの場を提供することによる市民文化の向上及び農業の振興。				
	取組内容	老朽化した施設の更新を通じて、さとらんどの魅力と話題性を強化し、入園者数の増に繋げる。 ①遊具の更新(老朽化対策) ・大型木製遊具更新のための実施設計及び整備工事 ③さとらんどセンターハウスのサービスアップ(機能再編・向上) ・レストラン・テラス・キッズコーナー整備 ・売店の実施設計					
	実施結果	大型木製遊具の更新(老朽化対策) ・実施設計及び整備工事 センターハウスサービスアップ(機能再編・向上) ・レストラン・テラス・キッズコーナーの整備 ・売店の実施設計					
事業実施における工夫点	老朽化対策・機能再編に係る更新・改修は指定管理者と密に情報共有を図り進めた。						
対象者	市民			開始	令和2 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	食料・農業・農村基本法等、札幌市農業体験交流施設条例						
他都市の状況	無し						

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		45,296	145,000	143,701	21,000
うち特定財源		23,000	96,000	0	0
人工		0.9	0.9	0.9	0.9
人件費		6,480	6,480	6,480	6,390
計(事業費＋人件費)		51,776	151,480	150,181	27,390
事業費 の内訳	令和4年度決算	・大型複合遊具の更新に係る実施設計・工事:130, 670千円 ・レストラン・テラス・キッズコーナーの整備:10, 829千円 ・売店(改修)の実施設計:2, 202千円			
	令和5年度予算	・レンタサイクルの更新:4, 983千円 ・遊具更新に係る整備(芝復旧等):1, 386千円 ・売店(改修)工事及び物品購入:14, 631千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	工事等を実施する事業であり、定量的な活動指標の設定が困難			
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
活動指標2		指標名				
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
成果指標1		指標名	年間入園者数(人)			
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
		175,620	360,000	405,780	500,000	
成果指標2		指標名				
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルスの影響により入園者数は減少していたが、老朽化施設の更新や利用が少ない施設の機能転換により、今後の入園者数の維持・増進に結びつけることができたと考える。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本事業では利用が多い施設の更新や新設を目的としており、事業規模としては適切であったと考える。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	利用が少ない施設を廃止、改修して、新たな施設を生み出しており、施設の有効活用及び支出の低減を図っていることから、実施手法は適切であると考ええる。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	各施設は更新・改修後、多くの利用があり、利用者のニーズに込えることができたと考える。				
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映					
今後の改善点	今後は、老朽化施設の更新のほか、よりいっそう市民ニーズに即した施設とするべく、民間活力の導入を視野に入れ、ソフト・ハード両面での再整備を進めていく。					
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	キッズコーナー開放は感染拡大防止対策を意識して行った。				見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	新型コロナウイルスの影響により入園者数は減少したが、施設の更新や機能転換により、今後の入園者数の維持・増進に結びつけることができたと考える。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止 引き続き、必要最低限の老朽化施設の更新は継続的に実施していく。 また、ソフト・ハード両面について再整備計画の検討を進める。				
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 さとらんどは開園から28年以上が経過しており、老朽化施設が増加しているが、本事業では市民ニーズが高い施設など必要最低限の規模で更新等を行う計画であり、現状の予算規模を維持する。				見直し効果額